



最新のコミュニケーションツールを使用した
オンライン交流会を実施します！

令和3年度

第2回 横浜ビジネスミーティング

観光需要の回復期に向け、“今”プロモーションを行うことが求められています。今後の回復期に向けた観光 MICE プロモーションを実行する上では何が効果的なのか、また、人々は今どんなことに興味を持っているのか、関心ごとは何なのか、さまざまな側面からのデータ分析に基づき、横浜が取り組んでいく観光 MICE プロモーションについて考えます。これからのプロモーションの参考として是非ご視聴ください。

日時

2021年9月17日(金)
13:30~15:30(予定)

参加
費

YCVB 特別会員：1,000 円/名
YCVB 賛助会員：1,500 円/名
非会員：2,500 円/名

開催
方法

オンライン(zoom によるライブ配信)
※お申し込み後に視聴方法をご案内します。

申込
期限

2021年9月15日(水)
15:00 まで

申込
方法

下記よりお申し込みください
<https://forms.gle/w4TjDtXhruz1x8UH7>

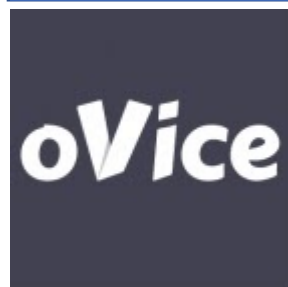


プログラム

- ◆セッション① SNS の投稿から見る横浜の「今」
- ◆セッション② これからの観光プロモーション (株式会社プラチナム 宇塚氏)
- ◆セッション③ 横浜 MICE の動向
- ◆オンライン交流会

(※詳細は裏面をご確認ください)

13:40~14:00 セッション① SNS の投稿からみる横浜	観光地への来訪者数やその属性といった統計データは、観光地の状況を把握するうえで欠かせません。しかし、「なぜその場所を訪れたのか」「訪れてどう感じたか」といった、観光客の「ホンネ」までは、見えてきません。 そこで、注目されているのがソーシャルメディア（SNS）分析です！ SNS では、日々のつぶやきから旅行・おでかけの感想まで、人びとの様々な「声」であふれています。 夏休みのおでかけや、スポーツ・イベント会場など、今夏もたくさん話題があった「横浜の今」を、SNS から覗いていきます。
14:00~14:25 セッション② これからの観光プロモーション	PR 歴約 20 年！ 総合 PR 会社・(株)プラチナム PR ディレクター宇塚司氏が解説する「これからの観光プロモーション」を YCVB マーケティング担当者との対談形式でお送りします。 ① 広報担当がスマホで撮った素材がテレビに？ 生活者に直接ニュースを届け、さらにメディアにも活用してもらう方法を解説します。 ② 「インフルエンサー マーケティング」は観光プロモーションにぴったり。 インフルエンサーのニーズに応える新たな PR 手法を成功事例を交えて解説します。 ③ 2022 年は観光需要回復！？ コロナ以降の集客を見据え、コロナ禍の今やるべき準備を提案します。
14:35~14:55 セッション③ 横浜 MICE の動向	昨年から続く新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大。その影響から MICE の開催形態が多様化する中、横浜市内ではどれほどの MICE が実際に開催されているのでしょうか？データを基に分析します。 また、実際に 2021 年 4 月以降に横浜で MICE を開催した主催者の声から抽出したニーズ等から「横浜で MICE を開催したい！と思ってもらう為には何が必要？」「横浜 MICE に興味を持っているのはどんな人？」といった疑問にお答えします！
15:00~15:30 オンライン交流会	第 2 回目の今回はバーチャル空間 oVice を使用したオンライン交流会を実施します。 ネットワーキングを行うことが難しい今だからこそ、最新のコミュニケーションツールを使用したオンライン交流会へ是非ご参加ください。 ※操作方法や具体的な交流方法についてはお申し込み後、改めてご案内いたします。 また、前日 9 月 16 日 16:30~17:00 に oVice 操作の練習会を開催いたします。 操作に不安をお持ちの方は、是非ご参加ください。



oVice は株式会社 NIMARU TECHNOLOGY (所在地:東京都港区、代表取締役社長 ジョンセーヒョン)が「もっと使いやすいオンラインコミュニティ空間」を目指して公開した、物理的な概念を導入したバーチャルスペースです。まるで現実世界のような感覚でバーチャル空間でのコミュニケーション活動が出来るのが最大の特徴。現実世界とオンラインにおけるコミュニケーション双方の利点を兼ね備えることを実現しています。

詳細は右記 URL をご参照ください。: <https://ovice.in/ja/>

株式会社プラチナム 第3コンサルティング局 局長

宇塚 司（うづか・つかさ）氏

PR 歴は約 20 年。自治体・官公庁・国内外観光局・音楽・フェス事業・自動車・流通・消費財・金融・医療など幅広いジャンルを担当。課題形成からのブランディングを重要視しており、生活者や時代に合わせ、その時々クライアントに合わせた最適なコミュニケーションを立案。100 社以上のコンサルティングを行ってきた中での対応領域は、企業ブランディング、コーポレート PR、マーケティング PR やファンコミュニティ形成、さらにはアド領域含む統合コミュニケーションなど多岐にわたる。



主催・問合せ先



公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー

TEL:045-221-2111 E-MAIL: member@ycvb.or.jp